

＝ニュースレター11月号＝

No.WTE-2111

東レエンジニアリング西日本は、エンジニアリング、マニュファクチャリング、メンテナンスの3事業を柱とし、
安全で高品質な製品を提供できる真の長期安定成長企業を目指します

新任理事ご挨拶



この度、6月24日付けで理事 保全事業本部滋賀保全事業部長兼保全1部長を拝命しましたト部 勇治（ウラベ ユウジ）です。

私は、これまで東レで工務系を中心に業務を遂行してまいりました。

自身の志について変化点は何度かありますが、やはり健康第一、安全第一は基本方針として自分にも共に働く仲間にも言い続けています。

優先順位として、安全、品質、コストの順で物事を切り分け、今まで働いてまいりました。

そして、東レエンジニアリング西日本（WTE）に入社しても、本方針は変わらず、保全事業に役立てていきたいと思っています。未だ、入社してわずかですがベテラン、中堅、若手と共に調和を重視し、WTEの発展を通して社会への貢献に寄与していきたいと思いますので何卒よろしくお願ひいたします。

“トピックス”

2021年10月19日 TPM全社活動報告会 開催

当社は中期経営課題達成のためのツールとして、TPM活動に取り組んでおり、毎年1回、活動成果を全社に水平展開すべく、全社活動報告会を開催しています。

この報告会は、各部署の代表サークルが自部署の改善内容や成果について報告するもので、今年も各部署の特色ある取り組みについて、それぞれ工夫を凝らして報告しました。

社長・役員より内容に対する質問や更に改善に繋がるよう指導を受け、社員一同のモチベーションアップに繋がる報告会となりました。

(担当部署： TPM推進室 077-534-0956)



プラント事業部 施工管理のICT化の取り組み② スマートグラスの活用

プラント事業部では施工管理のICT化ツールの一つとしてスマートグラスを導入しました。スマートグラスは東レが標準としたヘッドマウントディスプレイを備えたウェアラブル機器で、Teamsを利用することにより装着者の視点の映像や音声を、離れた場所にあるパソコンへ発信できます。会話もでき、遠隔地と現場の状況がリアルタイムに共有できます。

プラント建設現場では、現場の危険個所を映像で記録する安全管理面での活用や、ラインチェック、気密テストなどの作業記録保存、音声記録によるペーパーレス化や、試運転を遠隔地から共有して若手のトレーニングにも活用できます。

先月末に完成した東レグループの曾田香料(株)／岡山化学工業(株)様の案件では、現場と本社間を中継して、バルブの取付け位置や、流れ方向の確認、パッキンの有無等、ラインチェック支援を行いました。

今後は、更に活用の幅を広げ一人が現場説明を受け、その状況を本社で共有して見積対応したり、現場調査や試運転、機器製作会社での立会検査、トラブル対応も遠隔支援を実施する事で、少人数での対応を実現したいと考えています。

(担当部署：プラント事業部技術1部 Tel:077-534-2188)

安全管理

現場で危険個所を
映像で記録

作業記録保存

ラインチェックを
映像と音声にて記録

不具合発生時の見直しにも活かせる



ペーパーレス化

音声記録
手ぶらでメモが可能

若手社員の

トレーニング
試運転を現場と同じ目線で
遠隔地から共有して指導

東レエンジニアリンググループ「ちりつも作戦」

東レエンジニアリンググループでは、経費節減・工数削減を目的に、グループ全体で塵も積もれば山となる「ちりつも作戦」に取り組んでいます。当社でも各職場でそれぞれ工夫して取り組んでいますので、その取り組みをご紹介します。

WT Eのちりつも作戦③

制御盤製作現場では、モジュラーケーブルのふき取り作業を、コンプレッサーワーでほこりを飛ばす方法に変更し、作業時間を大幅に短縮しました。



← 結束バンドを外して、ほこりを拭き取っていました。

↓ コンプレッサーワーをすることで、結束バンドを外す
必要がなくなりました。



* 排気設備の整ったクリーンブースで作業をしています。